

# 東京教区時報

第1135号  
2009年9月13日発行  
日本聖公会東京教区  
港区芝公園3-6-18  
編集人 伊藤裕元

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: [comm.tko@nskk.org](mailto:comm.tko@nskk.org)  
Phone: 03-3433-0987 Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇9月の代禱・信施奉献先  
▽わかちあい募金のため▽山谷兄弟の家伝道所まりや食堂の働きのため▽タイのH1V感染者及びAIDS発症者支援のため  
▽心臓病児保育活動のため

▽松永るつ▽丹司有香▽三村令子▽小林翠(真光)  
◆とこしえの平安  
8月2日 宮崎 房子(85)  
8月10日 平島 正郎(82)  
8月11日 児玉 久雄(86)  
8月11日 池袋 聖アンデレ

8月28日 塩月 光子(87)  
8月28日 牧野 一彦(91)  
▽台東九条の会大川端寄席(浅草聖ヨハネ) 落語2席と津軽三味線 19日(土) 19時、木戸銭なし。照会 ☎03(3851)9521・同教会宛。

◆教役者レクイエム  
9月16日(水)午前10時半  
主教座聖堂

8月13日 中島 スミ(97)  
8月13日 聖三一

9月5日 同教会宛。

説教 小笠原忍司祭  
▽司祭根岸卯太郎▽司祭巽芳三郎▽司祭石黒千秋▽司祭菅円吉▽主教野瀬秀敏▽司祭今井直道▽司祭佐々木厚▽司祭今井寿道▽伝道師小川英子▽執事堀正義▽司祭伊東祐▽司祭リチャード・A・メリット▽宣教師メリー・L・セントジョン

今週・来週の予定  
9月13日～26日  
13(日) 聖霊降臨後第15主日 主教巡回 葛飾茨十字教会  
14(月) 正義と平和運営委員会  
15(火) 小平墓地委員会 教役者待遇調査委員会  
16(水) 教役者レクイエム委員会 信仰と生活委員会  
17(木) 常置委員会 環状G牧師協議会(立教チャペル)  
20(日) 聖霊降臨後第16主日 山手G教会協議会(聖愛) 多摩G教会協議会(聖パトリック) 環状G教会協議会(池袋)  
22(火・休) 銀座朝拝会 150周年記念プログラム(立教大学・池袋)  
23(水・休) 同記念礼拝(東京カテドラル)  
24(木) ハラスメント防止委員会  
25(金) 山手G牧師協議会(聖愛)

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

「母さんお肩を叩きましょう、タントントンタントントン…」と歌いながら、車椅子のご老人の肩をやさしく叩きます。歌い終わった時、「ああ、気持ち良かった、また呼んでね」という言葉が返ってきました。私たちはホッとして、お連れしてきて良かったと思います。

り、一筋縄ではいかないお相手とか認知症の方もおられて、対応に苦慮する場面もたびたびあります。ボランティアメンバーは教員だけでは足りず、他教会の信徒さんや一般の方の応援もいただいて、15人程度で週1回を交代で受け持っている状況です。

教会の敷地内に特養ホームが建てられたのが1999年。その1階にある小さなお部屋が喫茶室です。ボランティア活動が始まってから10年たちます。建物の5〜7階で生活されている入居者の方を順番に数名ずつお連れして、茶菓の接待をした

## 喫茶ボランティア

阿部 久子 施設の職員の方々は一生涯命介護しておられますが、人手不足は否めません。全国的に問題になってきているように、職員の勤務待遇面でレベルアップされれば、大変な仕事も少しは報われるのではないかと切実に思います。ボランティア諸氏も年を重ね様々な事情を抱えていますけれども、神さまからお支えをいただいで活動を続けております。ささやかな働きではありましても、人様と出会い交わりをするなかで、仕え学び合えることができます恵みを感じております。

《み手のなかで》  
歌ったりして、しばらくの時を過ごします。私たちは、一人一人の入居者の方の気持ちにそえるような心遣いをしていられるつもりですが、訪れてくる人それぞれに個性があ

（聖救主教会信徒）

▽日本聖公会150周年記念  
 催事 ①記念プログラムⅡみんな集まれ!(22日・立教大学池袋キャンパス)、②礼拝Ⅱこぎだせ、沖へー(23日・東京カテドラル聖マリア大聖堂)の準備が大詰めを迎えている。礼拝時の教役者入堂プロセクションには、ゲストを含め約250人の参列予定があり、聖堂は大会衆の熱気で溢れそうな様子。

前日のプログラムは11時から終日、写真展・展示ブースが開かれているほか、午後から夕刻にかけてはコンサート、シンポジウム、夕の礼拝などが会場内各所で順次、多彩に。また18時から誰でも参加できる交流会(会費2千円)も。50年に一度の記念大催事…、証人の一人へと

参加呼び掛けがなされている。記念催事会場へのアクセスやキャンパス内会場などの照会、各教会宛案内書参照を。

▽三光教会礼拝堂改築へ 2年後の創立百周年へ向けて備えてきた建築計画の機がいよいよ熟し、今秋から約1年の工期を予定に実施が決まった。玄関奥に当る木造礼拝堂部分の全面改築で、有事の際の休憩施設をも視野に入れた計画。工事期間中の主日礼拝は、隣接する香蘭女学校講堂での挙行となる。建築費総額は1億4千万円。内1千万円の一般募金が見込まれていて、すでに呼び掛けが始まっている。照会☎03(3781)2554・同教会。

《今、この教会では…》

洪谷聖ミカエル教会  
 当教会は今年、創立百周年の節目の年に当たり、3年前から準備に取り組んで来ました。信徒の高齢化と減少の中でも、皆様の熱意で目標額を上回る献金が奉げられ、築40年を経て随所に老朽化が目立つ聖堂の必要最小規模の補修工事を済ませ、目下は、10月12日(祝)の記念礼拝・祝会と記念誌発行に向けた準備に追われています。当日は佐藤慶子姉作曲の当教会独自のミサ曲を取り入れた礼拝を奉げます。皆様のご来臨をお待ち申し上げます。地域の特性を考え日曜学校ならぬ「土曜学校」を1月から始め、8月に3泊4日のキャンプを実施。(瀬畑雄二)

## 【クローズアップ】24

### COAサマーキャンプ体験

8月21日から24日まで、Chew of the Ark(通称コア)の夏のキャンプで、長野県戸隠に総勢16人で行ってきました。今年のキャンプテーマは、今までコアに参加してくれたことのある人も初めての人もこのキャンプに

来た全員が、その場所、そのメンバーでのキャンプを通して、どんな形でもいいから新しい自分を発見して新しいスタートを切ってほしい、そのスタートラインにこのキャンプがなるように!という思いから「よーい、どんっ!!」に決めました。

持ちました。話し合い時間は違うテーマで2回。1つ目はテーマの「よーい、どんっ!!」について、2つ目は「放蕩息子のたとえ」についてでした。放蕩息子の箇所では、自分は誰に共感できるか、この話に続きがあるとしたらどんなエンディングだろう?…というような感じで進めていったのですが、みんなの話聞いていて、例えば兄に共感できると言っても「優しい兄」だったり「怖い兄」だったり…など、たくさん

写真を整理している時に、時間が進むにつれて表情が全然違ってきて笑顔の写真が増え、ポーズの仕方が変わっていったり、スタッフもキャンパーもみんなの距離が近くなっていたりということに気付く、とても嬉しかったです。天気にも恵まれ、たくさんの人に支えてもらいキャンパーでいる間は気付けなかつたたくさんの方に気付くことができ、無事にキャンプを終えることができました。

反省点はいっぱいありますが、それも含めてたくさんを経験を得た私達は、このキャンプによってそれぞれ良いスタートを切っていったのではないかなと思います。

COA代表 新田紗世